

あなたの声を町政に

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの基本方針を問うものです。

大山町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある、本会議場での傍聴をお待ちしています。

農業公社は作れないか？

町長 ▶ 現行制度を活用



↑農業が始めやすい環境を

問 町外から本町に定住し農業をしようとしても、こういった方法で農地を借用するのかわりにくい。
また、貸す農地が荒れていては作付ができないし、農業に使う農器具を購入しようにも高額で実際にどこまでできるのか不安もあると思う。行政が非耕作地の管理運営をする農業公社のよ



米本隆記 議員

答 町長 国の補助事業を活用し5年以上の耕作を条件に個人負担なしで耕作放棄地の再生に取り組んでいる。農業公社のような組織があれば、定住対策、耕作放棄地の減少に寄与すると考える。公的負担や関係団体・機関との連携の状況を考え、現行制度を活用して進める。

ふるさと納税の現状は？

町長 ▶ 県内の平均ぐらい



→ふるさと納税のパフレット

問 最近、ある行政市ではふるさと納税者が大幅に増えていると新聞に出ていた。昨年は前年度の6.7倍の895件、今年度は4〜7月の4カ月間で758件だった。本町は昨年32件の申し込みがあった。
しかし、その行政市とくらべて何か物足りないものがあると感じる。
ふるさと納税制度をどのように考えているのか。

答 町長 ふるさと納税は、寄付金の形で自治体を支援してもらう制度。特別な環境にある市町村以外の平均的な状況にある。納付者の7割が県外の人で、自然環境の保護に寄付が多いのが特徴である。
観光客向けのパンフレットを設置し、納付実績の向上に努める。
また、大山ファンクラブ、誘致企業従業員へのPRやお礼品を充実し、魅力ある制度に改善を図っていく。

総務常任委員会

9月13・15日の2日間、決算議案6件の審査と、所管の事務調査を行いました。



費用対効果

総務課

21 年度事業で、国の経済対策交付金を活用し、役場本・支所間電話の内線化工事（事業費1248万円）、本庁舎空調システム改修工事（6298万円）が行われた。施工前後で電話代、光熱費がどう変わったか、事業による費用対効果の検証を求めた。

過疎地指定で優遇税制

総務課

今 年度から大山町が過疎地域に指定された。3年間課税免除されることになった。業種によっては、所得税、法人税などを営む個人・法人が新設する一定基準以上の増設に係る固定資産税が



空き家の情報をお待ちしています！

空き家・空き地情報

企画情報課

大 山町に移住したい「空き家はないませんか」
町外から役場への、そうした問い合わせは年間30件以上ある。企画情報課では、以前から空き家・空き地バンクとして情報の収集・提供を行っている。物件の登録数が少なく、合併後の成約数は売買4件、賃貸2件に留まっている。
登録物件を増やすため、21年度に、空き家・空き地物件を調査。所有者と交渉し、ちかく10〜15の物件を登録し、定住促進を図る。

なぜ、サッカー場か？

町長 山香荘の再生策として



諸遊 議員

問 本年4月、人口減・高齢化率の上昇から、過疎地域の指定を受けた。23年度には、過疎対策事業債の活用で、山香荘にサッカー場建設が計画されている。「ハコモノは造らない」との選挙公約もあり、また、町の総合計画にも大山恵みの里構想にもない。突然、4億7000万円の大金を投じてサッカー場を計画することに、町民の

賛同を得ることができるとの信頼関係が結ばれなくなるのではないか。サッカー場が山香荘に必要と思うなら、今回の選挙の時に公



↑再生策が検討される山香荘

約をし、その結果を見て造ったらいいのではないか。

答 町長

利用計画がある施設の建設は必要である。山香荘の再生策を検討する中で浮上してきた。

本来の地域体育施設の目的を、できるだけ残しながら活用を図っていききたい。

また、県サッカー協会が利用するという、10年間の指定管理の提案があり、今受けなければ将来はない。

どうする？ 大山診療所

町長 活用を考えている



岩井美保子 議員

問 町民は大山診療所の今後を見守っている。早く決めてはどうか。

答 町長

2階部分の活用を考



↑使用されていない2階部分

える中で、特に障害となつていのが、形態を変えること。補助金、起債の問題があり、国とのやりとりも難しいものがある。

名和公邸跡の管理は？

町長 所有者が行うのが基本



↑坪田にある名和公邸跡

問 名和公屋敷跡は、見学者が首をかしげる管理になっている。

町指定文化財としての管理が必要ではないか。

答 町長

町条例では、町指定

文化財の管理や修理・復元は、その所有者か管理団体が行うことを基本としている。

今後の管理について相談したり、確認をしたりしたい。

補助金は、管理団体が所有者の申請が必要である。

御来屋駅舎を指定文化財に

教育委員長 登録文化財が最適



↑山陰最古の駅舎である御来屋駅

問

御来屋駅舎は明治35年に開設された。その後、外部の改修や事務室などに増改築が施されてきた。

外観・待合室は、鉄道発祥の駅として、旅情ある開業当初の姿を留めている。

鳥取県では、近代化遺産として認めているが、町は文化財指定をしないのか。

答 教育委員長

文化財にはその価値の重さ度に応じて町・県・

国での指定による保護がある。指定して手厚い保護策を講じる代わりに強い規制をとまう。今後も利用を続けるためにその形状を変える可能性の高いものは、指定で保護することは難しい。

御来屋駅舎は、文化財指定よりも、登録文化財としての活用のほうが性格的に合う。

国レベルでの申請になるので、文化財建造物の専門家に調査してもらい、慎重に進めるので3、4年かかる。

野菜周年栽培に不安

町長 所得を確保する

【諸遊】 農協の営農指導員をしてきた町長の強い思い入れで、ハウス建設代金3分の2の町補助制度が創設された。補助率が高いということ、多くの農家の参加申込があった。

私はこのエコ農業野菜周年栽培に不安を感じる。

少量多品目で所得の確保は可能か。

【町長】 少量でも多品目の野菜を出荷することで、1年を通じ所得を確保していく。



↑所得向上になる周年栽培を

検討していく。

【諸遊】 生産物の、町独自のシールなどを考えているのか。

【町長】 他の事例なども参考にしながら検討していく。

【諸遊】 私の経験から、アスパルをはじめ、恵みの里が契約しているスーパーなどが販売先なら必ず売りが残る。市場出荷も考慮すべきだ。

【町長】 売れる売れないについては生産者の自己責任である。

【諸遊】 エコ農産物の農業・化学肥料の削減割合が不明瞭である。

【町長】 現在ある認証制度を参考にし、

どう取り組む？ 行財政改革

町長 ▶ 聖域なき改革を行う



近藤大介 議員

問

市町村合併の特例措置で、交付税の優遇を受けている。27年度から段階的に削減され、32年度には、現在より8～10億円、交付税収入が減ることが見込まれる。

行財政改革がさらに必要と考えるが現状は。また、今後の方針は。

答 町長

行財政改革審議会を設置し、今年中に

新たな「第2次行財政改革大綱」「集中改革プラン」の答申を受ける予定にしている。

厳しい財政状況下、より多くの行政サービスを確認するためには、職員と町民に

今年度の具体的な取り組みは、職員定員適正化計画の策定、時間外手当てに関する



↑改革意識を高める職員

答 総務課長

負担をしてもらい、聖域なき改革をしたと考えている。策定段階や見直しで、適切な情報公開を行い、意見を聞きながら理解と協力を求めたい。行財政改革は、強いリーダーシップで危機意識と改革意識を職員と共有し、町民の協力を得ながら真摯に取り組んでいきたい。

今年度の具体的な取り組みは、職員定員適正化計画の策定、時間外手当てに関する

山香荘の これからは？

町長 ▶ 指定管理を検討している



吉原美智恵 議員

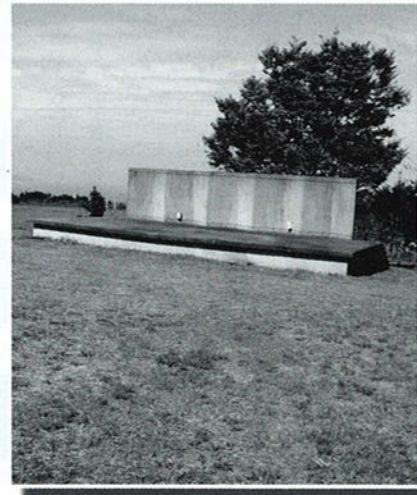
地域休養施設山香荘は、築約30年である。現在は、スポーツ合宿の活用がほとんどである。当初は、コンサートなどのイベントや、りんごマラソンも開催され、地域の活性化に貢献していた。

現在、町の管理下になり、維持管理費がさらに必要となる見込みである。

地域活性化の拠点施設であるので、国をあげて力を入れてい

答 町長

「子ども農山漁村交流プロジェクト」を検討してみてもどうか。



↑使われない野外コンサート場

山香荘の経営実態は、厳しい。現在では、陸上やサッカーの合宿場所として使われ

平成19年度から3年間、指定管理者制度の活用で再生を図ったが、状況の改善は見られなかった。今後の活用策として、

県のサッカー協会が提案している、10年プランの検討を進めている。

スポーツ振興を通じた町の活性化プランが提案されており、年間3万人くらいの利用者が見込まれている。

地域活性化に向けて、各種団体、関係地域と力を合わせていきたい。

過疎脱却の 目標発信を

町長 ▶ 積極的な目標は困難

問 延長された過疎地域自立促進特別措置法により、今年度、本町も新たに過疎地域として指定された。

県西部の中心市である米子市に隣接し、観光地大山を抱えながら、過疎指定を受けることを残念に思う。特別措置法は27年度までの延長だが、28年度に向けて、過疎解消に積極的な取り組みをする考えか。

定住対策室を設けるなど、人口減少の危機に取り組むメッセージを発信する考えはないか。

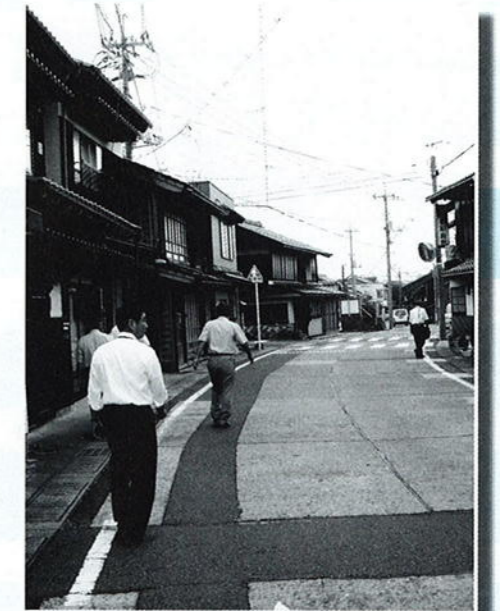
答 町長

28年に特別措置法が再延長された場合は、新たに指定要件の追加のみが行われ、本町の過疎指定は存続すると思っている。

このまま人口が減少し続ける現状を少しでも緩やかにするために、定住促進・

子育て支援、産業活性化等に積極的に取り組んでいる。民間の宅地開発などを誘導していくような施策も必要ではないかと思う。

過疎を脱却するために、人口増に積極的な目標を掲げることとはなかなかできないと思っている。減少に歯止めをかけ、緩やかな減少になるよう取り組みを進めたい。



↑高齢化と人口減が進む大山町

財政の健全化と 予算編成は？

町長 ▶ 将来にツケを残さない

問 地方分権時代を迎え、行政の責任と役割が問われている。

近年、産業構造の転換と国の財政問題は、地方行政に多大な影響を与えている。

この1～2年は、交付税の順調な配分もあり、数字上では危機的状況にはないが、自主財源が25%を切っている。

現状を考えると、財政の健全化に向けた取り組みの強化が必要ではないか。

答 町長

また、これから予算編成の時期である。貴重な財源で、効果的な行政サービスの提供ができる仕組みの構築は考えているか。

現在、国民のくらしを担う地方公共団体では、健全な財政を維持する経営能力が問われている。

平成21年度決算での本町の健全化判断比率は、全ての指標

が「健全化段階」となっている。将来にわたって、健全で安定的な財政基盤を確立するための事業の根底に立ち返った見直しや「選択と集中」による効率的な行政運営を推進していく。

予算は、現在1件ずつ査定しており、緊急性や重要性を考慮しながら優先順位を決め、将来にツケを残さない方針で行っている。



↑効率的な行財政運営を

定住してもらうための住宅は？

町長 ▶ 空き家バンクの家を



竹口大紀 議員

【竹口】過去2年間、町営の賃貸住宅は満室の状態が続いている。この状態が続くのが最適か。

【町長】町営住宅は不足しているが、早期の建設計画はない。

【竹口】若者向け住宅の追加建設は行うのか。

【町長】敷地は2棟分確保しているが、今後の需要を見極め判断していく。

【竹口】どのような

住居に住んでもらう想定で、定住施策を考えているのか。

【町長】町営住宅や空き家バンクの家の利用を考えている。



↑若者が定住しやすい環境を

【竹口】空き家バンクの家は、買い取り希望が多い。そのような需要が多いと考えるか。

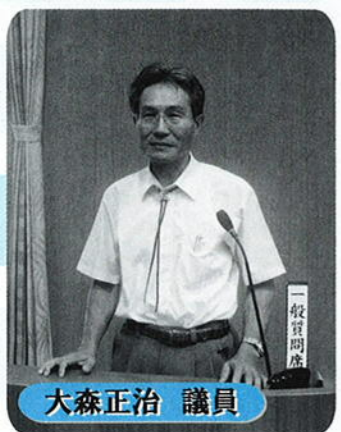
【町長】空き家の登録がスムーズに進んでいない。

【竹口】先進諸国は民間の賃貸住宅に同居した場合、自治体がかさねた費用が多い。維持管理費や建設費が問題であれば、このような手法はどうか。

【町長】参考意見として、今後の定住対策を検討したい。

同和対策事業の最終を

町長 ▶ 必要に応じて検討する



大森正治 議員

【大森】同和問題は、1965年に同和対策特別措置法が施行されて以来、さまざまな特別対策事業が行われてきた。2002年には国の同和対策事業も終了した。本町では今も特別な対策事業が継続している。これに対しては、町民から不満や「同和地区」固定化の不安の声が聞かれるが、どう考えるか。

【大森】どんな状況

【町長】固定資産税減免は、減らしつつある。他の事業は、差別の現状と照らし合わせて検討していく。

同和問題は重大な社会問題である。

【大森】本町の同和対策事業の今年度予算規模は、

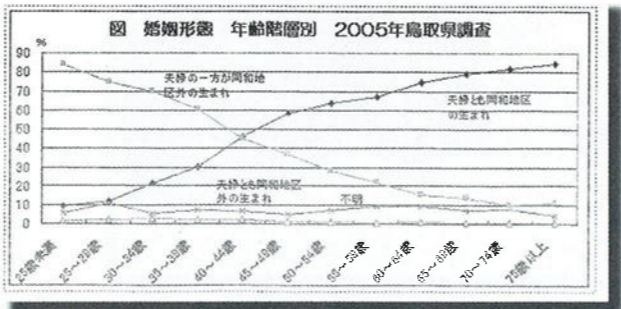
【町長】固定資産税の減免(344万円)、住宅新築資金等貸付事業特別会計(3700万円)を除く合計は6595万円。

【大森】今後、廃止・縮小したい事業は、

【大森】地区進出学習会は終わらせるべきでは。

【町長】同和地区への差別や偏見がなくなった時と考える。

【教育委員長】同和問題は解消されておらず、終わらせる時期ではない。



↑婚姻形態にも明らかな変化が見られる

で同和問題は解決したと考え、対策事業を終了するか。

いま、県では国保の「広域化」をめざす「広域化等支援方針」を策定中だ。

【大森】国民健康保険税は滞納も多く(加入世帯の13%380世帯)、滞納額は他の税と比べても突出している。

【町長】今年度、歳入不足となることを、国保基金活用によって、国保税の実質引き下げを行った。一般会計からの法定外繰り入れによって、国保税を引き下げては、



↑受診の抑制にならないように

【町長】適正な手続きをした被保険者には短期被保険者証を交付している。無保険ということはない。

【町長】現在の国の財政支援策のままでは、一概に広域化すれば安定した運営ができるともいえない。本町としては今後の動向を見守る。

だれにも喜ばれる国保に

町長 ▶ 窓口負担の減免は検討する

【大森】国民健康保

【町長】生活困窮者を無保険にしないために、正規保険証の取り上げをしないようにできないか。

【大森】生活困窮者を出ると予想し、どんな判断をするか。

【町長】国の基準などを把握しながら、今後の検討課題になる。

【大森】「広域化」によってどんな影響が出るかと予想し、どんな判断をするか。

世帯数を増やすためには？

町長 ▶ 他市町村と一味違う施策が大切

【竹口】町の年間出生数は1000人を切った。出産祝い金の制度を新設しないのか。

【町長】出産祝い金制度は設けない。

【竹口】町長選挙の時、若者定住促進のために出産祝金の新設を提案していたが、方向転換か。

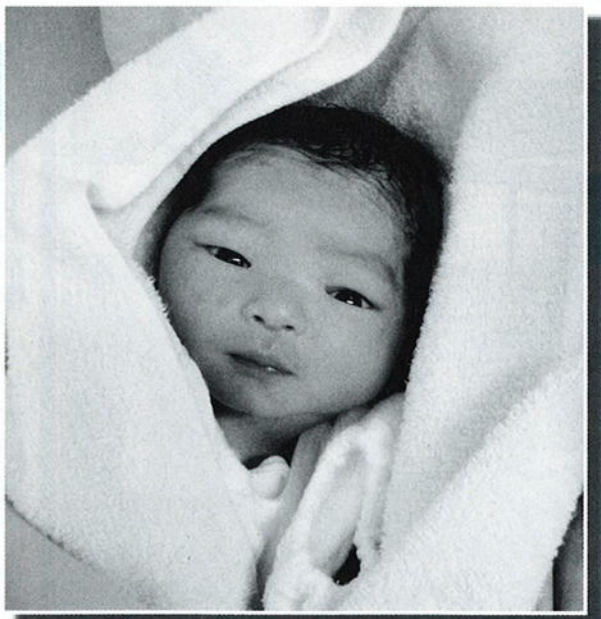
【町長】出産祝い金制度の効果に疑問があり、近隣の町村の状況も考えて判断した。

【竹口】「大山町ま

【町長】11月と2月に花嫁ツアーを計画。大阪から花嫁希望者に来てもらい、町内の独身男性とさまざまな作業をしてみよう。

【竹口】どのような環境であれば、人口流出防止と人口流入増大につながるかと考えるのか。

【町長】そのように考えている。



↑産み育てやすい施策で人口増を

【町長】雇用や住宅、保健医療、子育て支援策に加え、他の市町村と一味違う施策を展開していくことが大切。

【竹口】町の課題は、出生率の向上よりも世帯数を増やすこと、住みたいと思ってもらうための施策を作ることが大切では。

【大森】受診抑制を防ぐため、窓口負担の減免制度を早く創設できないか。

脳ドッグ検診の 公費助成は？

町長 ▶ 検討したい



杉谷洋一 議員

問 「杉谷」みずから健康づくりに関心を持ち、病気の早期発見・治療をすることで、健康が保たれ、医療費の軽減にもつながる。がん検診の受診状況は。

【町長】 昨年度の本町の受診率は約20%であった。ケーブルテレビ・広報など受診の呼びかけを行い、昨年からは日曜日にも検診日を設定し、受診率の向上をめざしている。

【杉谷】 人間ドッグの受診状況は。

【町長】 昨年の受診者は651人で、大幅に増加した。市町村が実施している個別検診とは違い、義務的サービスではないが、ニーズなどを考えながら対応していきたい。



↑受診率の向上をめざして

【杉谷】 脳ドッグ検診の公費助成はできないか。

【町長】 現在実施している自治体の状況なども調査、研究しながら検討したい。

【杉谷】 愛育委員の検診へのかかわりは。

【町長】 大山地区では「愛育委員」が検診支援や健康づくりを推進している。中山地区は「保健委員」、名和地区は「健康づくり推進委員」という名称で、各種検診書類の配布や、受診の呼びかけなどを行っている。

役場を プロ集団の館に

町長 ▶ サービス業を自覚する



野口昌作 議員

問 本定例会での監査報告によれば、ごみ袋代金の紛失、山香荘の無申請での営業問題などあったにも関わらず、現金取扱者の明確化、調定・入金事務の迅速化などが指摘されている。

町民生活の維持向上と町民の信頼に込める役場、行政のプロ集団の館とするための考えは。



↑プロの住民サービスを提供する役場に

町民からの要望がさまざまある中で、地域経済の悪化などから、行財政改革の推進や職員の削減を進める必要がある。また、人事育成基本方針を定め、これに基づき人事考課の試行を行っている。サービス業に従事する職員であるということを自覚し、親切丁寧に接するよう指導している。

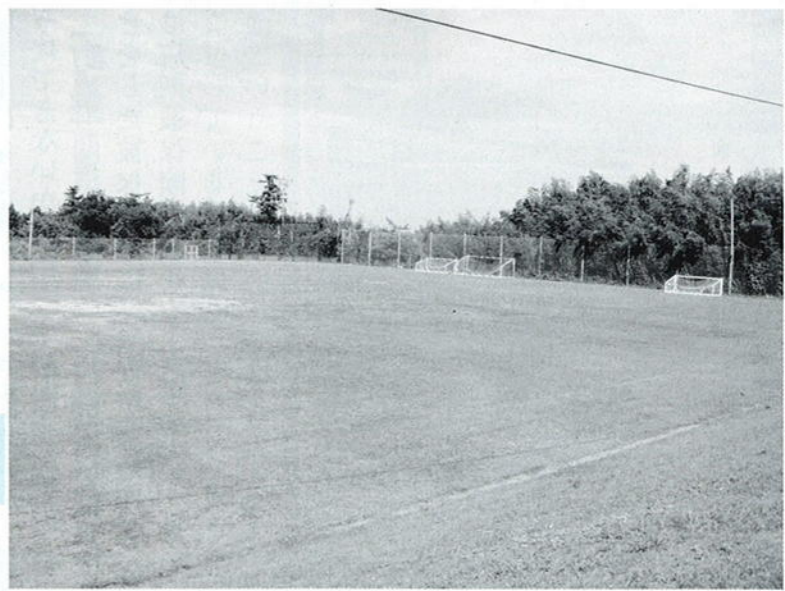
答 ▶ 町長

過疎地域脱却に 向けた政策は？

町長 ▶ 提案も検討したい

問 過疎地域自立促進計画が議会に提案されている。計画の中に、4億7700万円のサッカー場が計画されている。建設の最大の目的は何か。町民の利用者割合は。施設管理の収支は。今後山香荘の改修が発生しないか。

企業誘致や、過疎債を利用した農林水産業の振興、結婚・定住対策課の設置、結婚資金の貸付、結婚祝い金、出産祝い金



↑サッカー場の建設が検討されている山香荘のグラウンド

仲人報奨金、新婚者に戸別住宅の貸付などの政策を提案するがどうか。

答 ▶ 町長

サッカー場の建設は、過疎計画に載せているが、議会にもいろいろ資料を提示している。

計画の最大の目的は、地域休養施設の山香荘やその周辺地域の再生、活性化の促進である。

町民の利用の現状は2%程でほとんどなくなっている。過疎地域解消に向けての政策は、議員の提案も検討する必要があると思っている。

おめでとうございます！

平成22年9月1日

自治功労者として表彰



町村議会議員として永年在職し、功労のあった議員が、鳥取県西部町村議会議長会に表彰されました。

◆議員として18年以上在職
椎木学 議員

51%は

大山町に住みたくない!!

アンケート
で
意識調査

特集 町内の中学3年生 154人に聞きました!

※将来、大山町に住みたいと思いますか?
という質問を154人にしました。

そのうち、**22人**は住みたい、
50人は一度町外に出て、いずれは大山町に住みたい、
79人は大山町外に住みたいと回答。
(無効回答3人)

大山町総合文化祭に
行ったことがある人

79人 / 154人

町内のイベントは
中学生の参加者が少ない。
参加率が高い総合文化祭でも、
約2人に1人は行ったことがない。

住みたくない理由

- 1位は**不便**(店・交通)で**34人**。
- 2位は**町外に住みたい**(都会・外国など)で**18人**。
- 3位は**就職・やりたい仕事・夢のため**で**9人**。

住みたい理由

- 1位は**落ち着く・住みやすい**で**10人**。
- 2位は**自然が豊か**で**6人**。

昨シーズン大山の
スキー場に行った回数

- 0回...**65人**。
- 1~2回...**46人**。
- 3~5回...**29人**。
- 6~10回...**8人**。
- 11回以上...**6人**。

42%は昨シーズン 大山のスキー場に 一度も行っていない

これが現状

まとめ

15 歳になる中学3年生は、数年前に就職や結婚など、人生の節目を迎えます。

そんな子ども達の気持ちと、特色あるまちづくりも、この世代の心にも響くものが求められているのではないのでしょうか。

今回が初めての試みの議会広報委員会のアンケートですが、とても貴重な結果が出ましたので、今後も調査を行いたいと思います。

また、この結果に変化が起きるような大山町をつくらなければならないと痛感しました。

ご協力いただきました中学生のみなさん、本当にありがとうございました。



福留 統 (福尾)

特産品づくりが「大山恵みの里公社」を核にして進められていますが、旧町時代から成功した例は中山のプロッコリーと大山のブルーベリーです。二つとも後継者とマネをする地域が出てきたことが成功と

| |
|---------|
| 特産品とは |
| 雲南市に学ぼう |

言われる所以です。

ンニヤクが栽培されていますが、これらの特産品にするには20年以上の歳月とやる気のある町民の情熱とたゆまぬ努力が必要になります。そして、長期間の町のバックアップが欠かせません。大山町は農業の町とよく言われます。もう一度足下を見つめて何ができるかを再発見することが、今必要ではないでしょうか。



清東 藤長 (伊富)

この時期は多くの地域でそれぞれ特有の氏神様の秋祭りが行われて、和気あいあいのうちに色々な催しがなされる季節となっています。私どもの富長集落では神社境内において収穫に感謝した祝いの餅つきを行い、子ども神輿と米

| |
|------|
| 伝えたい |
| 咲かす |
| じげの花 |

納されます。さらに、神社の参道では焼きそば・焼いか・飲物などがふるまわれて素晴らしい景品が当たる抽選会も行われ、舞台では、有志による芸能が披露されます。このような集落の心のつながりと繁栄に向けての活動は「未来へ向けて伝えて咲かすじげの花」であると痛感するものです。



昭博 永赤 (福永)

今年の春、集落で「第1回花見グラウンドゴルフ大会」を開催しました。広場に桜が数本あり、「みんなで花見ができたらいいな」と集落の役員会で相談したところ「子どもからお年寄りまで楽しめるグラウンドゴルフをしてから

| |
|-----|
| 新しい |
| 行事で |
| 絆を |

老若男女の新たな絆を深めることができました。最近、大山町は過疎地域指定されたと聞きました。過去45年間の人口減28%、高齢者比率32%、若年者比率14%と過疎の要素を満たしたのです。この数字は「将来の大山町がどうなったらいいかみんな考えて、行動しよう」と言っているように感じました。

あとがき

議員定数は、以前は地方自治法が人口区分にしたがって段階ごとに定数を定める法定定数制度でした。

それが、地方分権改革の一環で、各自自治体が条例で定める条例定数制度となった。ただ、人口区分ごとに定数の上限がある。

これを受け、また、厳しい財政を反映して議員定数を削減すべきとの動きが、議員定数問題です。

実際、合併などもあって市町村議会が県議会より先行して見直しが図られている。ただ、住民の多様で幅広い意思の反映という観点からいえば、議員定数は少なければよいというわけではない。

財政状況が厳しいという事情と、議会がよく機能していないという住民不信の反映もある。決算に占める議員報酬費は全体の1%にも満たない。

西山

募集

声をおよせください。

(テーマ) 大山町活性化のアイデア
(題) 10字程度
(文字数) 250~300字程度
(明記するもの) 住所・氏名・年齢・電話番号
(はがき送付先) 〒689-3211 大山町御来屋328
(FAX送信先) 0859-54-5214
(電子メール) gikai@daisen.jp

議会だよりのご感想をお聞かせください!

0859-54-5213

gikai@daisen.jp